



令和元年度 中央区地域活性化事業交付金 交付決定事業 【大野北地区】

令和2年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業の概要 (申請時)			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
1 大野北ぶら～と SANPOをたのしむ会	大野北ぶら～とSANPO おもしろ座学と地域めぐり 事業	平成29年度、中央区主催のぶらさんぽにスタッフとして協力した中で、参加者の多様性(ベビーカーの子連れから、30代の一人参加、シルバー世代のグループ参加、家族連れなど)と楽しさを実感した。	若い世代も含めた地域の住民とのつながりをつくることができると期待されるこの事業を、淵野辺駅前商店街を身近に知る機会とも絡めて、地域づくりの一助としたい。 ・大野北地区内の史跡や現在注目されているスポットを巡ることにより地域を知る・座学を通して地域への興味を広げる。 ・事業の企画準備を通して、地域の様々な人達(商店街の人達も含めて)との関係性を広げる。 ・公民館をスタート地点とすることで公民館の存在を知ってもらう。	5月18日(土)10:00～ おもしろ座学(大野北公民館):「私の住む街の近現代史」 6月1日(土)9:45～ ぶら～とAコース:公民館～兵器学校跡めぐり～麻布大学いのちの博物館見学 6月1日(土)13:30～ ぶら～とBコース:公民館～新田稲荷神社～JAXA交流館見学～市立博物館見学	H31.4.15	80,000	80,000	80,000
2 特定非営利活動法人相模原ライズ・アスリート・クラブ	若年層の運動能力&シビックプライド向上プロジェクト	ホームタウンである相模原市内で活動している中で、小学生の運動能力の低下を実感している。データでも小学生の体力テストのスコアは全国平均よりも低いという結果がでている。(平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」相模原市の結果より)相模原ライズは、大野北地区を地元とするアメリカンフットボールチームであることから、アスリート達とのスポーツ交流を通じた取組を実施することで、シビックプライドを醸成し、地域の活性化につなげることや若年層の運動能力の向上に寄与できると考えた。さらに、大野北銀河まつりと同日開催することにより、相乗効果を発揮できるプロジェクトにしたいと考えている。	大野北地区小中学生の運動能力向上・アスリートとの交流やパフォーマンス体感を通じたシビックプライドの醸成	「走る」「投げる」「とる」の出張授業 「走る」に関してはランニングスキルを専門に教えている講師により、技術に加え、継続的な運動につながるよう「走る」楽しさを実技を通じて伝えていく。「投げる」「とる」に関しては青山学院大アメフト部の学生との協働により、アメフトを通じて楽しみながら参加者にスポーツを体験してもらう。 アスリートのパフォーマンス体感 普段接する機会の少ないアスリートのパフォーマンスを間近で見ってもらう。アメリカンフットボールの模擬試合を行い、「自分もこんなふうになりたい。」「こんなことしてみたい」と心に強い印象を与えることで、地元チームへの愛着やスポーツを好きになるきっかけをつくる。 流れ(時間は仮) 2019年8月3日(土)鹿沼公園内軟式野球場(大野北銀河まつりと同日) ・13:30～14:30「とる」「投げる」の体験教室開始 ・14:30～16:30「走る」かけっこ教室第1部、2部開始(定員小中学生50名×2を想定) ・16:30～17:00 相模原ライズvs青山学院のアメフトデモゲーム	R1.7.10	367,000	367,000	367,000
3 ふちのべ星援隊	伝統文化とのコラボレーションによる地域活性化事業	大野北地区には複数の大学が立地していることやJAXA相模原キャンパスの最寄り駅であること、図書館、地区公園があることなど、市内でも文化的な色合いの濃い地区である。このため、地域の活性化を図る取り組みにおいても、日本古来の伝統文化とコラボレーションすることにより、大野北地区の特性を踏まえた特色のある地域活性化事業ができるのではないかと考えた。	文化的な要素を取り入れた特色のある地域活性化を目的として、初年度は世界文化遺産にも登録されている民俗行事である「なまはげ」を大野北地区内の子供達に体験してもらい、地域文化への興味や地域愛の醸成を図るとともに、なまはげ太鼓の披露や餅つきなど、幅広い世代の地域住民が気軽に参加でき、住民同士の交流が促進されるイベントを開催する。	実施日:令和元年12月14日(土) ・世界文化遺産に指定された「なまはげ」によるパフォーマンスとなまはげ太鼓の披露 ・午後1時30分:公民館大会議室でのパフォーマンス披露 ・午後3時30分:淵野辺駅デッキ下でのパフォーマンス披露	R1.11.20	450,000	450,000	450,000

団体名	事業等の名称	事業の概要 (申請時)			交付決定 年月日	事業予算(単位:円)		
		事業の背景	事業の目的	事業の内容		全体額	申請額	交付金額
4 青山学院大学箱根 駅伝優勝報告会実 行委員会	地域で祝い、地域への 愛着を深める事業～青 山学院大学箱根駅伝優 勝報告会～	少子高齢化、人口減少社会を迎える中で、これ からも魅力にあふれ、心豊かに暮らせる地域と なるためには、地域に暮らし、学び、働くすべ ての人が協働して地域づくりに取り組む必要があ る。 大野北地区では、従前より、同地区内にある青 山学院大学、麻布大学、桜美林大学などと連携 し、自治会・商店街・学生など、地域に集う人々 の協働による魅力あるまちづくりに取り組んでい る。	大野北地区のまちづくりの仲間である青山学院 大学の東京箱根駅伝往復大学駅伝競走での2 年ぶり5度目の総合優勝という快挙は、共に地 域で活動する全ての住民や学生にとっての誇り であり、自らのこととして喜び、地域全体で祝福 することにより、大野北地区のまちづくりへの機 運をさらに高め、全ての人が心一つにして、地 域に誇りを持ち、愛着を深めるための取り組み を一層推進するために実施することを目的とす る。	実施日:令和2年1月25日(土)午後2時から午 後3時30分まで 【優勝報告会】 ・主催者、来賓あいさつ ・青山学院大学陸上競技部 優勝報告 ・地元中学生から花束贈呈 【パレード】 ・応援団、チアリーダー披露 ・地域代表、地元中学生、監督、選手パレード	R2.1.17	1,020,000	800,000	800,000
- 相模原市自治会連 合会中央区連絡会	中央区振り込め詐欺対 策事業 9地区合同事業	高齢者をねらった振り込め詐欺被害が全国的 な課題となる中、中央区内でも被害が多発して いる。平成30年度には、相模原市自治会連合 会中央区連絡会として、振り込め詐欺防止ス テッカーによる高齢者向けの詐欺対策事業を実 施したところだが、令和元年も被害件数は増加 しており、危機的な状況にある。最近、警察官 や銀行、市役所の職員等に成りすまして、暗証 番号を聞き出し、キャッシュカードをだまし取る被 害も多発していることから、地域の防犯意識の 高揚や犯罪を寄せ付けない住環境の創出が求 められる。	被害の中心となっている高齢者に向けた啓発 だけでなく、詐欺被害防止という目線で周りの高 齢者を気にかける地域づくりのため、防犯啓発 プレートを作成・掲出し、周知・啓発する。	・防犯啓発プレートの作成 サイズ:縦30cm×横23cm(角)、厚み0.5mm 材 質:PVC(白)、PETコート 数 量:4,000枚 ・防犯啓発プレートの掲出 自治会員宅など、地区内の見やすい場所に掲 出する(掲出場所は各地区の判断によるが、電 柱への掲出は決して行わない)。	R2.1.27	1,778,000	1,778,000	1,778,000
						1,917,000	1,697,000	1,697,000

9地区合同事業以外の合計額